

2003（平成15）年度 前期 京都大学 入試問題 第2問 解答例

*解答欄の行数を現在の京大入試の実情に合わせています。

問一

雨に濡れるより、迎えに来るはずの伯母が来ないので途方にくれ、今にも激しく泣き出しそうな思いつめた気持ち。

問二

男女の隔てが厳しい時代に、一人遅れて出てきた女の子は、年下の「私」と帰路も同じで、人から嘲笑される迷惑な相合傘を断れない性格でもあり、偶然が重なったと思われたから。

問三

「私」と女の子が相合傘を過度に恥じらって緊張し、ろくに挨拶もできないで呆然としているときの様子が、乳母にはたいそう滑稽で、忘れがたいほどの微笑まじさを覚えたから。

問四

迎えに行く約束を守らず、「私」から苦情を言われながら、「私」の父親の指図で迎えに行けなかったと言え「私」が父親を恨むので、父親をかばって自分のせいにしようとする一方で、苦情を言う「私」の憤りをも受け止めてやろうとする気持ち。

問五

男女が親しげにすると嘲笑され、緊張を強いられる「私」たちの少年時代と比べて、小学校の教科書に仲のよい男女の詩が掲載されるほど、西洋では男女間の隔てがなく、子どもも人目を気にせず思い通りに、男女仲良くできるということ。ち。